

新医学系指針対応「情報公開文書」改訂フォーム

複数施設研究用

【情報公開文書】

両側腎細胞がんにおける遺伝子変異の解析**1. 研究の対象**

2001年1月から研究実施許可日までに、当院で両側の腎細胞癌に対して治療を受けられた方。

2. 研究目的・方法

ゲノム解析を用い、両側腎細胞癌の発生に関与する遺伝子を調べ、新規のドライバー遺伝子や変異スペクトラムを同定する。

新たな遺伝子変異が同定されたら、臨床経過との関係を調べ、分子病態に基づく予後層別化システムならびに治療選択アルゴリズムの構築を目指す。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、腫瘍所見、手術情報、病理、治療、術後情報、予後、等

試料：腫瘍組織および非腫瘍組織のDNA・RNAおよび末梢血由来DNA

4. 外部への試料・情報の提供

得られたDNAおよびRNAを理化学研究所に送り解析します。データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

旭川医科大学医学部医学科 腎泌尿器外科学講座	沼倉一幸
理化学研究所 基盤技術開発研究チーム	桃沢幸秀
理化学研究所 がんゲノム研究チーム	中川英刀
弘前大学大学院医学研究科 泌尿器科学講座	畠山真吾
秋田大学大学院医学系研究科 腎泌尿器科学講座	関根悠哉
岩手医科大学 泌尿器科学教室	加藤廉平、小原航
東北大学 泌尿器科学講座	川崎芳英、伊藤明宏
山形大学医学部 泌尿器外科学講座	内藤整、土谷順彦
京都大学医学部 泌尿器科学教室	増井仁彦、小林恭

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

弘前大学大学院医学研究科 泌尿器科学講座 畠山真吾

TEL：0172-33-5111

研究責任者：

弘前大学大学院医学研究科 泌尿器科学講座 畠山真吾

研究代表者：

旭川医科大学医学部医学科 腎泌尿器外科学講座 沼倉一幸

-----以上